



## インベスター・リレーションズ・プロフェッショナル(IRP)養成講座のご案内 早稲田大学にて2日間の集中講座 7月2、3日に開催

### 価値未発見企業の IR プロフェッショナル(IR 担当者・候補者)向け講座

IR活動の浸透と共に、実務経験を活かしてIR専門家としてのキャリアアップを志向する企業人が増えてきました。また、資本市場を中心にしつつも、ステークホルダーとのコーポレート・コミュニケーションを図るIR・PR担当者を育成しなければならないという課題を担った経営陣や財務担当役員も増えてきました。このようなニーズに応えて、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科では、昨年8月に、日本初の試みであるインベスター・リレーションズ・オフィサー(IRO)養成講座を5日間の夏季集中講座として開講いたしました。今回は、上場間もない企業、近く上場を目指す企業に多く認められるところですが、企業に潜在している投資価値が未だ発見されていない企業を対象に、「本格的なIRを開始するには、どうしなければならないのか」をテーマにした2日間の講座を開講します。修了者には、早稲田大学からIRP(アイ・アール・プロフェッショナル)として必要な知識・ノウハウを習得したことを証明する修了証が授与されます。また、昨年に引き続き夏季(8月16(火)~20日(土))に開催予定のIRO養成講座の基礎編としてもご検討ください。

【早稲田大学 花堂靖仁教授 開講趣旨についてご案内】

#### 「受動的IRから能動的IRへの期待」

ビジネス・ファイナンスにおける直接金融依存が高まり、資本市場とのかかわりが深まるにつれ、国内で株式を公開する約3,700社は、それぞれの置かれた状況に応じてインベスター・リレーションズ(IR)に取り組んできています。多くのIR担当者は、啓蒙期の段階として、IRを生み育てた米英の知見に学び、その先進事例に倣って知識とスキルを磨いてきました。しかし、それが資本市場の求めに対応する“受動的IR”になりがちなことに気付き、「果たしてこのままでよいのか」と自問自答しているのが最近の現状ではないでしょうか。

長期の経済低迷から抜け出す兆しのなかで、発行企業は、新たな成長に向けて積極的に経営戦略を展開する時機を見定めることが一方で求められています。それにあわせて、いまや、企業の経営戦略展開の一環として資本市場を介して社会に働きかける“能動的IR”が模索されはじめています。そのポイントは、中期の経営計画の立案を支える財務戦略と、社会的責任遂行の説明を含め有利な経営基盤を整えるための企業のPR戦略とを、IRが繋ぐことです。具体的には、デット、エクイティーのいずれにせよ、資本市場における自社のポジションを客観的に分析し、事業ドメインにおける潜在的な能力のなかから自社のコンピテンシーが何かを時系列と関連させて明らかにし、自社の価値形成がどのようなプロセスで実現されるかを資本市場関係者に説得的に説明し、あわせてこれらの開示情報を投資家以外の主要なステークホルダーと共有できるように、それぞれの関心と理解力に応じるように提供することが必要になるということです。



このニーズに応えるため、早稲田大学ビジネススクール(アジア太平洋研究センター/大学院アジア太平洋研究科)が、関係者および関係機関の協力を得て、わが国の資本市場で公開する発行体における適正な企業評価を引き出す経営陣の責任者であるIROを養成する講座を昨年主催し、多くの注目を集め、相当の実績をあげました。本講は、昨年ご要望が多かったIR活動に関する基本的知識と一般的スキルの習得とそれらの活用ノウハウの啓発に集中したカリキュラムを設定しましたので、ここにご案内いたします。本年夏季に開催される第2回IRO養成講座の基礎準備コースとしても多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【本講座の特長】

新規公開企業や上場予定企業の経営者や IR 担当責任者としてキャリアを志向する方、またこれから IR 活動を積極的に取り組みたいと考えている企業の経営陣、IR 責任者など 25～40 名の参加者で構成

2 日間にわたりケーススタディを含んだ 14 コマで編成する集中方式

早稲田大学ビジネススクールの専任教員に加え、IR 活動実務ないし関係実務教育のエキスパートさらにプロの投資家を講師とする講義と 4～5 人を 1 グループとするケース作成実習を含む演習を併用

各講師が本講座のために準備するオリジナル教材と関係資料を使用

履修内容の修得証明と講座修了証の交付

【カリキュラムと担当者】

7月2日(土)		7月3日(日)	
1 時限 (9:00～9:30)	<b>プレイズメント</b> 開講の辞・参加者紹介 価値未発見企業に必要な IR とは 花堂	1 時限 (9:00～10:30)	<b>実践編</b> 具体的事例でみる株主 IR 木橋
2 時限 (9:30～10:40)	<b>IR 環境編</b> 株式発行市場における現状と課題 宮永	2 時限 (10:35～12:05)	<b>実践編</b> 機関投資家・外人投資家向け IR の実際 鈴木
3 時限 (10:50～12:00)	<b>IR 環境編</b> 成長企業にとっての公開と意義 吉村	昼食時 (12:10～13:45)	<b>昼食&amp;ケース演習</b> グループワーク 花堂・宮永
昼食時 (12:05～13:30)	<b>(ショート・プレゼンテーション)</b> 日本企業の IR の現状 岩田	3 時限 (13:50～14:50)	<b>実践編</b> 見えざる企業価値の開示に向けて 中村
4 時限 (13:30～15:00)	<b>基礎編</b> 企業価値評価の実際 成長企業の評価ポイント 西山	4 時限 (14:55～15:55)	<b>実践編</b> IR と企業防衛 敵対的 M&A・ガバナンスの実際 岩田・高山
5 時限 (15:15～16:45)	<b>基礎編</b> 資本市場規制を巡る最近の動向 大崎	5 時限 (16:00～16:45)	<b>実践編</b> IR サイトと Web IR 矢澤
6 時限 (17:00～18:30)	<b>ケース演習</b> IPO 企業における IR プレゼンテーション 講義&グループワーク (花堂、宮永)	6 時限 (16:50～18:30)	<b>ショートケース発表&amp;講評</b> - (花堂、北川、鈴木、宮永、高山)
		(18:40～20:00)	<b>修了式と懇談会</b> -

スケジュールおよび担当者は若干変更する可能性があります。

【担当講師陣(予定)】

大崎 貞和 : 早稲田大学ビジネススクール助教授  
西山 茂 : 早稲田大学ビジネススクール助教授  
花堂 靖仁 : 早稲田大学ビジネススクール教授  
吉村 貞彦 : 早稲田大学ビジネススクール教授(客員非常勤)  
北川 哲雄 : クレディ・スイス信託銀行株式会社 取締役株式運用部長  
鈴木 直樹 : シュローダー投信投資顧問株式会社 ディレクター  
木橋 充 : 亜細亜証券印刷株式会社 ディスクロージャー推進部主任推進役  
中村 博之 : 株式会社アクセル 取締役  
矢澤 利弘 : 株式会社アルジェント 社長 公認会計士  
岩田 宜子 : ジェイ・ユール・アイアール株式会社代表取締役  
高山与志子 : ジェイ・ユール・アイアール株式会社マネージングディレクター  
宮永 雅好 : アイ・アール・ビー株式会社 顧問

【受講料】

¥150,000(税別、教材費・懇親会およびパーティー費を含む)

【協力関係機関】

亜細亜証券印刷株式会社  
株式会社 アクセル  
ジェイ・ユール・アイアール株式会社

以上

2005年5月吉日

早稲田大学ビジネススクール

(アジア太平洋研究センター・大学院アジア太平洋研究科)

ジェイ・ユール・アイアール株式会社(事務局)

# インベスター・リレーションズ・プロフェッショナル(IRP)養成講座 受講お申込み書

**Fax to : 03-3512-0908**

早稲田大学主催

IRO 養成講座事務局 ジェイ・ユールズ・アイアール株式会社 行

2005年7月2日から7月3日に行われる IRP 養成講座(成長企業用 IR プロフェッショナル養成講座)の受講を希望しますので、受講料振込み要領を送ってください。

貴社名	
ご所属・お役職	
ご芳名	
TEL	
FAX	
e-mail address	
その他の プログラムの ご案内を	希望する 希望しない

注1) 個人情報保護法に基づき、「申込書」は厳密に取り扱わせていただきます。

注2) 本IRP講座は早稲田大学ビジネススクールがジェイ・ユールズ・アイアール株式会社に運営事務を委託しております。そのため、「申込書」および講座受講時にご提供いただいた個人情報は、早稲田大学・ジェイユールズ双方で管理させていただきます。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先:

ジェイ・ユールズ・アイアール株式会社

担当者: 岩田・小松

TEL: 03-3512-0907

FAX: 03-3512-0908